

新入会員の紹介

(株)シナネンゼオミックの抗菌剤「ゼオマイティ」によるコンクリート腐食抑制工法

抗菌コンクリート工法

問い合わせ先：株式会社シナネンゼオミック 東京営業部
〒105-8525 東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー 8階
TEL. 03-5470-7125 FAX. 03-5470-7166
URL. <http://www.zeomic.co.jp>

(1) 工法の概要

下水道施設での下水や汚泥から発生する硫化水素ガスが、硫黄酸化細菌の作用によって硫酸に変化してコンクリートの腐食を起こします。近年、このようなコンクリート腐食は増加傾向にあり、適切な防食工法・腐食抑制工法の開発が望まれていました。

抗菌コンクリート工法では、コンクリート製造段階で(株)シナネンゼオミック製抗菌剤「ゼオマイティ」を適量添加するだけで腐食の原因となる硫黄酸化細菌類の繁殖を抑制でき、下水道施設内における硫酸の生成を未然に防ぐことによって、コンクリートの腐食を予防することができます。

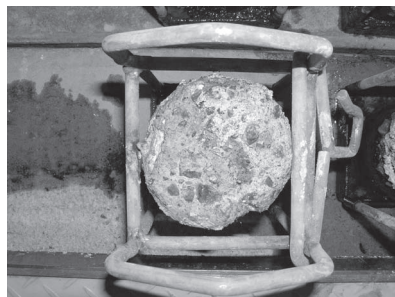
(2) 工法の特長

①抗菌効果

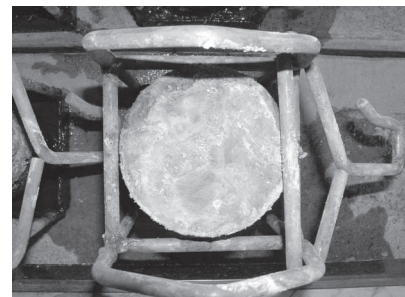
コンクリート腐食の原因となる硫黄酸化細菌類や好気性細菌の繁殖を抑制し、コンクリートを劣化させる硫酸や有機酸の生成を防ぐことができます。

②安全性・環境への影響

人体に対する安全性の高い抗菌剤を使用しており、下水処理に用いられる有用微生物（活性汚泥菌）に対して悪影響を与えません。



通常コンクリート



抗菌コンクリート

③取扱い・経済性

抗菌剤はセメントと類似した物性であることからJIS工場にて練混ぜ60秒で分散させることができ、あらゆるコンクリート二次製品やレディーミクストコンクリートへ抗菌コンクリート工法を適用することができます（全国78社の抗菌コンクリート研究会加盟会社にて抗菌コンクリート二次製品の製造が可能です）。また、特殊な設備を必要としないため、通常コンクリート製品と比較して抗菌剤分の価格アップのみで済みます。

④技術の位置付け

抗菌剤「ゼオマイティ」は公的な技術審査証明を取得しており、「ゼオマイティ」添加コンクリート（抗菌コンクリート）は、(社)日本下水道協会編『下水道管路施設腐食対策の手引き（案）』の腐食環境条件Ⅲ種に適合します。

■曝露試験実施状況（下水処理場での曝露試験実施例－3年2ヶ月経過品）